

第 24 回 下呂市上下水道運営委員会

（ 概 要 版 ）

令 和 4 年 7 月 22 日
下呂市役所 環境水道部 上下水道課

第 24 回 下呂市上下水道運営委員会 会議録

【日時】 令和 4 年 7 月 2 2 日 金曜日 13 時 30 分から 15 時 10 分まで

【場所】 下呂市役所 下呂庁舎 3-1 会議室

- 【次第】
- 1 開 会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 議 題
 - ① 令和 3 年度決算及び令和 4 年度予算について
 - ② 下水道使用料改定について
 - ③ 水道事業の現状について
 - 4 閉 会

【出席者】 <委員>

伊東 祐	☆会長
二村 チズ子	☆副会長
鈴木 裕識	☆学識経験者
内木 孝之	
福永 和也	
岡田 佳香	
今井 美佐子	
野村 勝	
森 哲男	
高木 祥子	
高井 範和	

<事務局>

今村 正直	(次長兼上下水道課長)
谷田部 武一	(上下水道課下水道係長)

【欠席者】 <委員>

熊崎 武司
曾我 純次

【議事等の摘要】

1. 開 会

事務局 資料に基づき説明

○事務局（今村次長兼上下水道課長）

本日出席委員は 11 名で、過半数に達しておりますので、これより、委員会を開催します。

2. 会長あいさつ

皆さんこんにちは。お忙しい中また暑い中を、ご出席をしていただきまして、ありがとうございます。

最近、コロナ感染症の拡大が本当に心配されております。この委員会も、昨年 10 月に新メンバーで発足して、非常事態宣言などで 4 か月ぐらい開催出来ない時期もありましたが、またそんな風になりそうな、ちょっと怪しい雰囲気になっておりますけれども、やっぱり、観光立市である下呂市にとっても、これは本当に厳しい状況だなと思います。

でも、非常事態宣言を、私は個人的にはもうやらないとは思いますが、そうすることになると、今度は命を守るか、経済を守るか、というような議論が繰り返されます。今日現在、国や県からも、4 人以上の会食の席には出席しないよう、という通達が出ていますので、我々が主催する総会とかに出席してもらっても、総会には出るけど、その後の懇親会は参加を控えられようということが続いておりますし、出ていただけるので有難いなとは思っておりますけれども、非常事態宣言を出されたらそうはいかない。

今日の会議ですけれども、前回は下水道の使用料金の改定について、皆様方から意見をお聞かせいただきました。資料の決算書を見たら、赤字が大きくて、前回の話だと下水道は 50%の値上げ、上水にしても 15 から 20%は値上げをしないといけないということで、大変なことだと思いますけれども、ライフラインですから切るわけにいかない。税金投入すれば、今度は税金を上げることになり、非常に難しい選択になると思いますけれども、色々な意見をお聞かせいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

3. 議 題

①令和3年度決算及び令和4年度予算について

●事務局 資料に基づき説明

<質疑応答>

○委員

赤字について、市から補助金的なものはいっているのか。

●回答

市の一般会計からは、水道事業としては3億7000万円いただいています。全て簡易水道事業に係る分です。また、下水道事業についても、総額で14億6000万円という多額なお金をいただいています。

○委員

投資活動とは、我々みたいな商売からいうと、いわゆる設備投資ですけど、いわゆる維持管理費っていう解釈でいいんですか。

単純に言うと、うちらなんかで設備投資といえば、例えば部屋を直したり、いわゆるリニューアルみたいなことで、積極的にやるのも設備投資と言いますよね。新たに価値を生み出すための設備投資というよりは、維持、いわゆる補修も含めた維持管理経費という解釈ですか。

●回答

設備の補修修繕等は業務活動の方に入っておりますし、大きな配管改良工事ですか、布設替えというものが、こちらの投資活動というところになるのかなと思います。

○委員

投資活動キャッシュフローで、上水道では780万円ほどに対して、簡易水道は1億2500万円程になっていますが、この違いは何でしょう。

●回答

簡易水道は実施した工事も多く、上水道は少なかったためです。

○委員

恐らく、投資すると言ったら付加価値を次につなげたいっていう意味だと思うんで

すが、下水道であれば、環境を維持するということに設備投資してる、上水道だったら、水道水をちゃんと供給できるように設備投資してるという意味で、新たにビジネス上、お金がたくさん儲かるようにという意味ではないということなので、そういう位置付けになってしまうということですね。

○委員

今年度、簡易水道で金額が大きいというのはよく分かるんですけども、これは例年同じような傾向なのか。

●回答

簡易水道はかなり増額しています。簡易水道は、施設とか機械設備が多く、どうしても10年、15年ぐらいで壊れたりするものがあり、集中的に直しているためです。簡易水道については例年多いですが、ここ2～3年は大きい額を計上しています。

○委員

それは計画的なところで、できるだけ2～3年に偏らないようにした方が、市としてはいいですね。今後、計画的に実施できるよう、計画されるというようなところでしょうか。

●回答

次回以降の水道料金の改定という話の中で、管路ですとか機械設備の更新計画についてはお示しします。

○委員

水道料金としての収入を多くする必要はよく分かるんですけど、波が激しいと、ある2～3年は駄目だし、その2～3年後は結構潤沢だっていうことになる。また、経営的にもやりづらくなると思うので、その辺りは計画的にされるといいのかなと。

また、料金改定を段階に分けて上げていくのはいいんですけども、市民の方々には、先に段階的に上がりますよってというのは通知した上で、1段階目を上げるっていうことでいいんですよ。

要は、知らされずに1段階上げて、また数年後に上げますよって、知らされずにそれをやるとよくないと思ったので。

●回答

当然、最終段階をお示しして説明します。

○委員

先日、組合の役員会がありまして、今までの経緯を説明しました。

最終的に、値上げはやむを得ないだろうということはご理解いただいていますけど、ただ、やっぱり事業者の場合、非常に負担も大きくなりますので、改めて組合の方にも事前に説明に来てほしいということをお願いされています。いきなりこれで決まりましたからといって、ポーンとやられるのはちょっと避けていただきたい。

逆に、我々事業所もそうだし、住宅の方へ行けばこれも適用されるので、どちらにしても同じこと。理解いただけるような方向で説明をお願いしたいということが一つ。

それと、幸田も相当古いので、幸田を下呂南部に繋ぐことができるのかっていう話が出ましたが、現実問題、今の改修よりかなりの設備投資が掛かるので、それと耐震工事が発注されていますので、その点については理解いただきたいということは、一応、担当の方からお話を伺いました。そういう意見もあったということだけお伝えしておきます。

●回答

説明等には伺いさせていただきますので、よろしくお願いします。

○委員

令和3年度の有収率について。令和3年度以前から低いのか、令和3年度が特に低かったのか。また、低い理由はどう捉えているのか。

●回答

有収率は10数年前と比べれば、年々減っています。令和3年度が特段低いというわけではありません。有収率が低い理由としましては、老朽管が多いということが原因だと考えています。

○委員

営農用について、22口あると言われましたが、利用者は22名ということですか。

●回答

1名でも複数箇所で行き込んでいる方がいますので、22口と表記しました。

○委員

個々の使用量は0から300トンって言われました。300トンということは、例えば、田んぼとかに使っているということもあるのでしょうか。

●回答

実際、何に使用されているのかは分かりませんが、田んぼというよりも、牛舎ですとか、そういったところが大口で使われているようです。

○委員

簡易水道の方が使用人口は多いですが、一戸当たりの使用水量の分布がどうなっているか統計は取れていますか。

●回答

統計は取っていますので、次回以降、資料でお示しします。一般家庭ですと月20立方メートル程で、下水道とあまり変わりません。

○委員

というのは、料金改定の時にどの層をターゲットにすると1番収入が増えるのか、みたいなところも計算しなきゃいけないと思うんですけど、そもそも簡易水道と上水道を統一しようということですよ。

●回答

料金体系も含めて統一しようという話です。

○委員

その際には、目安がやっぱり必要になると。恐らくですけど、上水道の人達にとっては、損する方向で改定することになるんだろうなと思っているんですけど、それは、もう一度考えをフラットにしたときに、市民は同じような水質の水を同じように供給されるんだと。

地域としては、何か田舎の方に住んでいる方々は、実際に維持管理に掛かるお金はたくさんになってしまうので、本当は高い水になるはずなんだけど、そこはもう市民として、一定の料金で支払ってもらったってことを納得してもらおうようなストーリーを作っていないといけないのかな。

●回答

簡易水道を上げればいいんじゃないかっていうと、また料金格差が広がっていきます。今言われたように、上水道利用者に負担をかけて、本当は上げなきゃいけない簡易水道利用者がそれほど負担しなくていいという、市民感情的にどうなのというところで、これまでもなかなか踏み込めなかったという経緯があります。それを今やろうというところで、難しい話だと思っています。

○委員

今の話はそのとおりで、結局、これを煎じ詰めると合併の是非まで遡ってしまう。ずっと前から聞いていたような難しい住民感情が出て難しい。旧他町村の分まで負担しなければならないということになってしまうわけでしょう。

簡易水道にしたのは、人口も少なく、また管路距離も長いので、取りあえず簡易水道にしたのですよね。

●回答

簡易水道を造ったというよりも、水道の規模によって簡易水道と上水道に分かれただけで、そもそも同じ目的で水道施設を造っています。地域が縦に長いような地形ですと、当然、事業費が掛かっています。

○委員

合併当初、この問題については何か議論をされたことがあるのか。

●回答

町村合併後も、しばらくは上水道は企業会計、簡易水道は特別会計といって、会計が完全に分かれていました。それが違ううちの統一は難しいのではないか、という結論だったようです。

○委員

例えば、似たような観光地で〇〇市などは、こういう風になっているのか。

●回答

他市の水道料金ということでしたら、昨年 10 月の資料に、県内の水道料金に関する資料を掲載しています。〇〇市は全市統一されています。

○委員

〇〇市の山間地などでは、簡水もなく、極端なことを言うと、山水を引き込んでい
るようなところと、市街地まで一緒になっているので、そういう意味では、地方の方
の割を食っているということは、まさに住民感情だと思うんですよね。

だから、単純比較は出来ないし、それに倣えば良いってものではないですけど、よ
っぽど気を遣って、住民の方に説明して納得をしていただかないと、「はい、わかりま
した」と同意が得られにくいのかなと思います。

それと、上水道で大口が云々と言われますが、萩原でも金山でも大口の事業者はた
くさんあるので、料金体系を変えていくってことになる、当然負担が大きくなるわ
けですから、簡易水道だからこれで済んでいたけど、上水道になったら余計割高なん
じゃないかっていう意見も出てくると思うので、その辺は何か上手い方法はないのか
なと思います。

●回答

今おっしゃられるとおり、〇〇市は吸収合併ということで、旧〇〇市の料金に統一
されました。結果高くなったところも、安くなったところもあったかもしれません。

また、統一というところで考えたときに、例えば、今の簡易水道を全て上水道料金
に合わせてしまう案と、またその逆も試算したのですが、どちらにしても赤字の脱却
は出来ないということで、どちらにしても何らかの値上げをしないといけないと考え
ています。

○委員

上水道はキャッシュフローで見ると9億円もあるが、もし料金を上げない場合、何
年もつのでしょうか

●回答

上水道は、特段大きな工事をしなければ、かなりの年数行けると思います。上水道
と簡易水道を合わせて考えれば、すぐに料金改定ということはなくともいいとは思
うのですが、上水道で貯めてきたものを簡易水道に使うということにためらいがあっ
て、今までも統一出来なかった理由の一つでもあるのかなと思っています。

○委員

上水道にこれだけのキャッシュがあるのは、過去からの利用料金などが積み重なっ
ているからですか。

●回答

過去から積み上げられたものがこの額になっています。

○委員

私のような部外の人間から見ると、上水道のお金だから簡易水道には使えないって言うのは、ちょっとおかしいなというところで、市民が毎月支払うお金を何とか抑えるから、持っているお金で上手くやりくりしていきましょうという考えの方が、自分たちが毎月払うお金が高くなるよりはいいという考えがあるんだったら、その方向性で計画した方がいいだろうし、いやそうではなくて、上水道と簡易水道をちゃんと分けてやっていきたいよって、多分、市民みんな思っていないと思うので、そのお金の話はですね、自分たちが支払うお金を持っていると思いますけど、何かもう前者の方でやっていくのかなと。

ただし、それでも恐らく持続可能ではないと思うので、多少の料金のアップはあっても、それを全く考えない高い料金アップよりかは、その方向性で考えた方がいい。

●回答

次回以降、更新計画をお示しするときに、水道全体として更新計画を立てたうえで料金はこういう設定が必要ですよ、ということをお示しします。

○委員

学術的な、といいますか別の考え方でいうと、水道は公衆衛生の一つですから、どこの地域がどうっていう話ではなく、全般的に平均的なものを安定確保するっていうのが一番大事なところではあります。あっちの方が良くて、こっちの方が悪くてみたいな発想は本来あってはいけないこと。

できるだけ統一的な考え方に基づいたほうがいいと思います。

●回答

本日の委員会は、水道の現状について頭出しということで、大変悩ましい問題があるということをご理解をいただけたと思います。

次回は8月30日か31日に開催予定です。都合の悪い日があれば事務局まで連絡ください。

本日はお疲れさまでした。